公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	にじいろデイズ市川新田		
○保護者評価実施期間	2025年4月15日		2025年4月22日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	24	(回答者数) 18
○従業者評価実施期間	2025年4月1日		2025年4月18日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○訪問先施設評価実施期間	2025年1月10日		2025年1月31日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	5	(回答数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2025年5月1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・毎訪問ごとに書面にて訪問記録を作成し、保護者に共有している。	・訪問に何う前に職員間での情報共有 ・保護者の方の困りごとをや、家庭での様子を共有してから訪問先へ伺っている	
2	・職員の専門性を活かし、お子様の訪問先施設でのご様子や環境を丁寧に観察し、支援を行っている。	・訪問支援員だけでなく、諸領域の専門スタッフとも話をしながら支援を行うようにしている。	・訪問支援員向けの研修への参加
3	・就学後も継続的な支援	・小学校への就学後も支援が継続できる為、切れ目のない支援ができる ・就学後はレッスンでの様子共有ができなくなるため、訪問に行く回数を増やす	・就学先との情報共有を行う

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・毎回同じ職員が訪問に伺うことができない。	・基本的に担当する職員は決まっているが、訪問先の受け入れは可能な日と職員のシフトが合わないことがある。	・可能な限り同じ支援員が伺えるように調整する ・別の職員が伺っても、継続した支援ができるよう引き継ぎを行う。
2	・レッスン担当職員が訪問に行くことができない。	・訪問支援員を設けており、個別レッスンの職員と担当が異なる	・訪問先での様子、レッスン時での課題・様子を職員間でも密に取り組んでから訪問支援を実施していく
3			

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名		にじいろデイズ市川新田		公表日			2025 年 5 月 15 日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点		
環境 制 運 備 営	1	訪問支援に使用する場合の教員教材は適切であるか。	4		・子どもに危害のない教材を用いて訪問に 伺っている。			
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	1	・保護者の希望になるべく添えるような人員 を配置している。	・利用希望者が多く、緊急性がある場合を除 き2～3ヶ月に1回程度の頻度でしか訪問で きないことが多い。		
業 務 改 善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、 広く職員が参画しているか。	4		・月1回の職員会議に全職員が出席し、業務の 進行状況や問題点などを確認している。			
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設け ており、その内容を業務改善につなげているか。	4		・毎年、保護者宛にアンケートを行い、 その内容を開示している。 ・保護者からの申出があった場合は、そ の内容に関して全体で共有し改善に努め ている。			
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善 につなげているか。	4		・職員のミーティングの時間を設けること により、それぞれの意見を把握する機会となっ ている。			
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている か。		4		・定期的な第三者による外部評価の実施 を検討する。		
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で 研修を開催する機会が確保されているか。	4		・子どもに対する支援の向上を図るための研 修を行っている。	・訪問支援に特化した研修は行っていない。		
適 切 な 支 援 の 提 供	8	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者 のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を 作成しているか。	4		・定期的にあセスメントを行い、保護者の意 向とすり合わせをして計画を作成している。			
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者 だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子ども の最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4		・保育所等訪問支援計画や、必要が生じた際 の支援の見直しは、児発管と指導員全員が参 加し支援の方向性について話し合っている。			
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と 連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	2	2	・訪問時のカンファレンスで担任の先生と話 している。	・支援計画作成する際に、特別に連携を図っ ていない。		
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行 われているか。	4		・個別支援計画に基づき、専門的支援実 施計画を立てている。また、計画書の内 容を支援内容として実施している。			
	12	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォー マルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルな アセスメントを使用する等により確認しているか。	4					
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保 育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容 が設定されているか。	4					
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行 われているか。	4		・全職員で計画書の共有をしている。 ・計画の見直しの際にも子どもの様子を話し 合いながら作成している。			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の 内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行ってい るか。	4		・保護者からの聞き取りや、児発での様子、 支援内容を確認したうえで訪問に行くよう にしている。			
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援 の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4		・毎回訪問後には、全職員に子どもの様子を 伝え、次の支援に向けて振り返りを行ってい る。			
17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重し て支援を行っているか。	4		・事前に保育園へ活動内容を確認し、訪 問日を決定している。				

	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	4		・ハグシステムを利用し、毎回訪問支援の記録を取っている。	
	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4		個別支援計画の有効期限を最長6ヶ月とし、定期的に見直しを行っている。支援計画の内容によっては、短い期間での書き換えもやっている。	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3	1	・児発管が参加している。	・児発管のみの参加になってしまっている。
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4			
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4		・スマイルプラン等、利用児童の移住する市区町村に応じて申し送り書類を作成している。	
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	3	1	・月に1回以上の外部研修を取り入れている。	・訪問支援に特化した研修への参加はできていない。
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	4			
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4		・保護者には電話や面談などでお子さんの様子を伝え合っている。	
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	2		・利用希望者全員へのペアレントトレーニングの実施が出来ていない。
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4		・契約の際に児発管が説明しているほか、質問には随時対応している。	
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	4		・初回利用時には児発管も同行し、事業の趣旨や訪問支援の目的等を説明するよう心がけている。	
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4		・モニタリングを行い、保護者の意向を確認している。	
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	4		・作成後に説明を行い、同意を得て支援をすすめている。	
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	4		・迅速な対応を心がけている。	
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	3	・児童発達支援と併せて、年に1回程度の保護者会を実施している。	・訪問支援のみの保護者会の実施ができていない。 ・保育所訪問のみ使用されている保護者は保護者同士の交流は行えていない。
	33	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4		・相談や申し入れがあった際には、可能な限り速やかに対応できるように体制を整えている。	
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	1	3		・定期的な配信ができていなかった。
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4		・鍵付きの棚に書類を保管しています。破棄する場合にはシュレッダーにかけ個人情報が入らないようにしている。	
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4			
	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	4		・訪問時以外でも随時、関わり方等について相談に応じている。	

訪問先施設への説明等	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	4		・ 毎回訪問後には対面、もしくは電話でカンファレンスを実施している。	
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	4		・ 必要に応じてフィードバックを実施している。	
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4		・ 個人情報が記載された書類などは鍵付き棚に保管している。廃棄の際にはシュレッダーで処分している。	
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	4		・ 相談があった際には迅速に対応し、適切な助言を心がけている。	
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4		・ 玄関に避難経路を掲示している。	・ 掲示のみになっている。 ・ 安全計画を保護者への周知できていない。
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4			
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4		・ ヒヤリハット報告書を作成し、職員間で原因及び再発防止に取り組んでいる。	
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4		・ 職員会議等において虐待や不適切支援に関する教育研修を行っている。	
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4			・ 現在は該当者がおりませんが、対象のお子さまがいる場合は組織的に決定し、個別支援計画に記載する。

公表

保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名		にじいろデイズ市川新田				公表日	2025年 5月 15日		
						利用児童数	24	回収数	18
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見に踏まえた対応	
									環境・体制整備
	2	プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	12	1	1	4	—	・個室を使用するなど、プライバシーに配慮した面談を行っています。	
	3	事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	16	1	0	1	—	・保護者へ保育所等訪問支援を勧める際は、その理由と支援内容について説明しています。	
	4	保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	14	3	0	1	—	・訪問日を決める際は、保護者と保育園へ確認のうえ決定しています。	
適切な支援の提供	5	こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思いますか。	13	1	0	4	・フィードバックが児発管の先生からして頂けるので、もし可能であれば、小学校訪問時にも児発管の先生が見に行ってもらえると有り難いです。	・子どもの様子や訪問先の状況など必要に応じ児発管も同行いたします。	
	6	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	14	3	0	1	・幼稚園の先生に子供の問題行動を頻繁に指摘されて苦慮していましたが、訪問支援の報告で幼稚園側の環境と子供の行動にアンマッチがあること等を教えていただき、こちらの対応の指針になり大変助かりました。共感的に支えていただきいつも感謝しています。	・ご意見ありがとうございます。お子さん、保護者の方のお気持ちに沿った支援ができるよう、今後とも努めて参ります。	
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	15	1	0	2	—	・児発管と担当職員で児の様子を話し合いながら作成しています。	
	8	保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	13	2	0	3	—	・訪問時にはカンファレンスを実施し、その内容を踏まえたうえで個別支援計画の作成をしています。	
	9	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	15	0	0	3	—		
	10	保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	13	0	1	4	—		
	11	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	12	2	0	4	—		
保護者へ	12	事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	14	0	0	4	—	・契約時に丁寧な説明を心掛けております。不明点ございましたらお気軽にお聞きください。	
	13	「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	13	0	0	5	—		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	11	0	0	7	—	・希望者のみペアレントトレーニングを実施しております。人員の関係で希望者全員が実施できないこともあります。	
	15	必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況、課題について共通理解ができていますか。	14	0	0	4	—		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	13	0	0	5	—	・定期的な面談を心がけております。	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	14	0	0	4	—		

の 説 明 等	18	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	12	0	0	6	—	・相談があったときは、電話や面談で迅速に対応できるよう努めています。また、苦情受付・解決担当者は重要事項説明書に記載し契約時に説明しています。
	19	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	14	0	0	4	—	・LINEや電話での迅速な対応を心がけております。
	20	事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	13	0	0	5	—	
	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	12	0	0	6	—	
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	13	0	0	5	・フィードバックはなかった。	・実施後にはLINEやお電話、もしくは対面でのフィードバック・情報共有を行っております。 ・フィードバックの実施が疎かになってしまい申し訳ございませんでした。以後同じようなことがないように十分に注意してまいります。
非 常 時 等 の 対 応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	11	0	0	7	—	・HPに自己評価アンケートを記載しております。
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	13	0	0	5	—	・個人情報は鍵付き棚に収納し、処分の際にはシュレッダーをして十分に留意しております。
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	6	1	0	11	—	・訪問時に緊急事態が生じた場合、お子さんと同じように、訪問支援員も訪問先の職員の方の指示に基づいて対応させていただきます。また、援護や救護が必要な状況であれば率先して協力させていただきます。
満 足 度	26	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	9	0	0	9	—	・計画書など掲示のみの対応になっていて保護者周知ができていませんでした。定期的な周知を心がけていきます。
	27	子どもは訪問支援を嫌がっていませんか。	15	1	1	1	—	
	・	事業所の支援に満足していますか。	16	2	0	0	—	・質の高い支援を継続できるよう取り組んでいます。

公表 訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名	公表日 2025 年 5 月 15 日
にじいろデイズ市川新田	利用児童数 24名 2025年 1月 29日 回収数：5施設

No.	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的にわかりやすく、取り入れやすいものですか。	3	2	0	<ul style="list-style-type: none"> ・ 関わり方で悩んでいる時に、複数のパターンを用意して下さるので、取り入れやすい。 ・ 支援員の方から助言を受けることは少なく、支援員が支援児の集団での様子を見て、事業所での活動に反映させていることの方が多かった。 ・ 支援教材を主に使うことを勧められ色々試させて頂きました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現場で先生方が実践のしやすい方法での支援のご提案をさせていただきまます。先生方の意見の傾聴も心がけてまいります。
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	4	1	0	<ul style="list-style-type: none"> ・ 痲癩を起した時の対応の仕方が子どもによって違うが、その子どもに合った対応を教えて下さる。 ・ 本児が自園の加配担当保育士の援助を受けられることで、集団の活動についていこうとしていた為、実際には支援員の方の知識、技術を訪問した際に取り入れることはなかった。 ・ 園児が全く動かなくなった時に、選択をすると良いというアドバイスがとても良く効いています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 引き続き、お子様に合わせて助言ができるよう努めています。今後もこまめに情報共有をさせていただきまますと幸いです。
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	3	1	1	<ul style="list-style-type: none"> ・ 電話でも的確に助言、対応をして下さる。 ・ 訪問支援員が事業所で担当している方ではない為、訪問した際に質問しても、その場で回答してもらえず、後日電話で回答をもらう形だった為、回答までに時間を要した。 ・ 個別で出来ても集団だと難しいこともあるのですが、色々な角度からの意見を言ってお下さり参考にさせていただきまます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ お子様を取り囲む状況から、瞬時に質問に対してご対応ができなかったことがあったかと思えます。こちらの判断ミスによるお子様への負担や先生方への負担にならないよう、判断が難しい場合には、いただいた質問に対して一度お持ち帰りをさせていただいております。できるだけその場でご対応ができるよう、社内での情報共有の強化や職員の育成強化を図ってまいります。
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	3	1	1	<ul style="list-style-type: none"> ・ 時間はかかるが解消できている。 ・ 保護者対応などについて情報共有できただ点では共通の対応ができてよかったが、支援児本人については事業所と園との課題や困りごと共通点が見いだせなかったため、軽減には繋がらなかった。 ・ 保育士の補助は必要ですが、集団の中で保育ができるようになってきました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 引き続き、情報を共有させていただく中で課題や困りごとに関して共通認識を持てるよう努めています。また、少しでも解消や軽減に繋げられるよう、社内でも利用されているお子様に関わる職員が連携し、問題解決の糸口を見つけ出せるよう努めています。
5	事業所からの支援に満足していますか。	3	1	1	<ul style="list-style-type: none"> ・ にじいろさんのおかげで私共も学びになっております。 ・ 訪問支援についての目的やねらいをしっかりと確認してからスタートできなかったため、支援というよりは、事業所側が園で集団の様子を見学して事業所の活動に活かすための訪問であるように感じた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ねらいや意図に関して共通認識ができるよう努めています。
その他のご意見					ご意見を踏まえた対応	
<p>・ 数年、大変お世話になっており、いつも的確なアドバイスをして下さるので本当に助かっております。今後ともよろしくお願い申し上げます。</p> <p>・ 支援児に対して保育士とは違う見方での意見を得ることもできたが、困りごとへの解消や解決に至ることはなかった。加配担当保育士と訪問支援員が、訪問支援の目的、意図などをお互いしっかりと共有してからスタートすることが大切だと感じる。事業所で支援児を担当している職員と、訪問する事業所の職員が違うことに違和感を感じる。支援児の担当者が園を訪問して、園の加配担当者と一緒に支援を進めていくことが、園や支援児にとってより有効な支援に繋がると感じる。加えて、年間を通して課題や困りごとに関する支援計画があると明確な目標が掲げられてよいと思う。</p> <p>・ 幼稚園での様子、療育での様子を話す事によって良い方向に持っていき、共通理解として共に指導しているので二学期から本当に良い方向に向かっています。いつもアドバイスありがとうございます。</p> <p>・ 情報が共有でき良い。</p> <p>・ いつもご支援いただきありがとうございます。訪問日に観察いただいた子どもの姿からの助言だけでなく、療育先での子どもの姿や、どのような支援を行っているか、また、そちらでの関わり方をどのように日常の保育に取り入れていくべきか等、具体的に教えていただけたことより、今後に生かせるのではないかと思います。子どもについてだけでなく、そのご両親のご意見や、心配されている事等についても共有して下さり、大変有り難く思っております。今後とも、宜しくお願いいたします。</p>					<p>保育所等訪問支援を利用されているお様が日々を過ごされている施設に実際に訪問することで、日々の様子や実際の生活の場でのような困り感を抱えているのかを知ることができ、当事業所にとっても有意義な時間となっております。</p> <p>各施設の職員の皆様、いつも快く訪問を受け入れて下さりありがとうございます。</p> <p>また、訪問支援の度にお話をさせていただくお時間を頂戴し感謝いたします。</p> <p>訪問支援のねらいや意図に関してですが、保護者の方の思いやその時のお子さまの様子に合わせたねらいや意図を、社内でも検討し、共有できるよう努めています。また、担当職員と訪問支援員の担当者が異なる件では、当事業所は児童発達支援と保育所等訪問支援の2つの事業を行う多機能型事業所となります。千葉県が定める人員基準に基づいて職員の配置を行っているため、お子さんのレッスンを担当している児童発達支援、専従の職員が訪問支援員として訪問することが難しくなっております。しかし、同事業所内での事業となりますので、情報共有に関してはこれまで以上に密に社内でも共有し、訪問先の先生方にとっても有益な支援に繋げられるよう配慮いたします。</p> <p>今後とも、どうぞよろしくお願い申し上げます。</p> <p>アンケートのご協力、ありがとうございました。</p>	